

実験 1 炭酸水素ナトリウムを加熱したときの変化

目的

準備

☐炭酸水素ナトリウム ☐石灰水 ☐塩化コバルト紙 ☐フェノールフタレイン溶液
☐試験管(6) ☐試験管立て ☐ゴム栓つきガラス管 ☐ゴム栓(3) ☐ゴム管 ☐スタンド
☐ガラス曲管 ☐ガスバーナー ☐水そう ☐ピンセット ☐スポイト ☐薬さじ ☐薬包紙
☐メスシリンダー ☐電子てんびん(または上皿てんびん) ☐線香 ☐マッチ ☐安全眼鏡

方法

- ① 炭酸水素ナトリウムを加熱して、発生する気体を水上置換法で3本の試験管に集める。
- ② 発生した気体、生じた液体、加熱した試験管に残った物質の性質を調べる。
 - ・集めた気体の性質を、マッチの火、火のついた線香、石灰水で確かめる。
 - ・加熱した試験管の口についた液体に青色の塩化コバルト紙をつける。
 - ・炭酸水素ナトリウムと、加熱後の試験管に残った白い物質を水にとかして、とけ方のちがいを確認した後、フェノールフタレイン溶液を加える。

結果 実験結果を表にまとめる。

気体にマッチの火を近づける	
気体に火のついた線香を入れる	
気体に石灰水を入れて振る	
液体に塩化コバルト紙をつける	

	炭酸水素ナトリウム	加熱後の白い物質
水へのとけ方		
フェノールフタレイン溶液 を加えたときのようす		

考察

.....

.....

.....

.....

まとめ

.....